

## 病害虫発生予察注意報第 2 号

佐賀県

作物名：ナシ  
病害虫名：黒星病

### 1) 注意報の内容

発生地域：県内全域  
発生量：平年より多い

### 2) 注意報発令の根拠

- 7月上旬の調査では、発生葉率は 4.2%（（参考）平年値：7月下旬 1.4%）と平年より高くなっており、多発生圃場も認められる（図 1、表 1）。発生果率は 0.9%（（参考）平年値：7月下旬 1.3%）である。
- 福岡管区気象台の九州北部地方における 1ヶ月予報（7月4日～8月3日）によれば、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みであり、本病の発生に好適な条件となっていることから、今後多発する恐れがある。

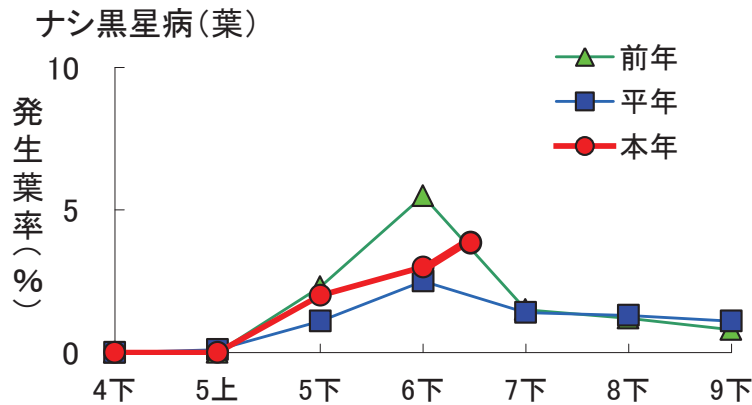


図 1 巡回調査におけるナシ黒星病の発生葉率の推移  
注) 7月上旬は臨機調査結果

表 1 ナシ黒星病の発生状況(平成27年7月6日調査)

地点名	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	平均
発生葉率(%)	2	1	18	0	0	7	1	0	0	13	4.2
発生果率(%)	4	0	1	0	0	1	0	1	0	2	0.9

### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 6月下旬～7月上旬頃は果実の主要感染期となるので、DMI 剤を十分量散布する(表 2)。
- (2) スピードスプレーヤーで薬剤散布する場合は、全列走行を基本とし、薬液が到達しにくい園周縁部等は手散布を実施するなどして、丁寧に散布する。
- (3) 黒星病の発病葉や発病果実(写真 1)は除去し、園外で処分する。
- (4) その他、防除の詳細については「[平成27年度 施肥・病害虫防除・雑草防除のてびき <水稲・大豆・果樹・茶> \(P298～303\)](#)」を参照する。

表 2 ナシ黒星病の主要な DMI 剤

薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
アンビルフロアブル	1,000 倍	7 日前まで	3 回以内
スコア顆粒水和剤	4,000 倍	14 日前まで	3 回以内
インダーフロアブル	5,000 倍	7 日前まで	3 回以内

※表中の薬登録情報は平成27年7月8日現在のものであるため、薬剤の使用にあたっては必ず最新情報を確認する。



写真 1 露地ナシに発生した黒星病